

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 4 月 13 日 (2006.4.13)

【公表番号】特表 2005-521563 (P2005-521563A)

【公表日】平成 17 年 7 月 21 日 (2005.7.21)

【年通号数】公開・登録公報 2005-028

【出願番号】特願 2003-580561 (P2003-580561)

【国際特許分類】

B 8 2 B 3/00 (2006.01)

C 0 1 B 31/02 (2006.01)

H 0 1 J 9/02 (2006.01)

H 0 1 M 4/04 (2006.01)

H 0 1 M 4/86 (2006.01)

H 0 1 M 6/02 (2006.01)

H 0 1 M 10/04 (2006.01)

H 0 1 G 9/058 (2006.01)

H 0 1 G 9/00 (2006.01)

【F I】

B 8 2 B 3/00

C 0 1 B 31/02 1 0 1 F

H 0 1 J 9/02 B

H 0 1 M 4/04 Z

H 0 1 M 4/86 B

H 0 1 M 6/02 Z

H 0 1 M 10/04 Z

H 0 1 G 9/00 3 0 1 A

H 0 1 G 9/24 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 2 月 22 日 (2006.2.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 8】

処理された前記 S W N T の長さは、 $0.1\ \mu\text{m} \sim 10\ \mu\text{m}$ の範囲内であることを特徴とする請求項 6 に記載のナノ物体からマクロ構造とする方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 18

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 18】

前記懸濁液中に前記基体を沈める工程は、

前記懸濁液に関して垂直に前記基体を前記懸濁液中に沈める工程を更に有することを特徴とする請求項 10 に記載のナノ物体を集めてマクロ構造とする方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 19

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 19】

前記懸濁液中に前記基体を沈める工程は、

前記懸濁液に関して垂直に前記基体を前記懸濁液中に沈める工程を更に有することを特徴とする請求項 17 に記載のナノ物体を集めてマクロ構造とする方法。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 28

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 28】

前記ナノ物体は前記基体の空気 / 液体 / 基体の 3 つが接する線上に形成することを特徴とする請求項 24 に記載の前もって形成されたナノ物体を集めてマクロ構造とする方法。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 34

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 34】

前記ナノ物体が単一壁または多壁カーボンナノチューブのいずれかであることを特徴とする請求項 30 に記載のナノ物体を集めて自立するマクロ構造とする方法。